



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月25日

上場会社名 日本ガス株式会社(登記上の商号 日本瓦斯株式会社)

上場取引所 東

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経財部長 (氏名) 宮本 英一

TEL 03-5308-2111

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

平成30年11月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	51,932	7.2	1,258	16.5	851	46.6	382	64.8
30年3月期第2四半期	48,465	0.8	1,508	68.3	1,595	65.5	1,087	65.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 185百万円 (85.0%) 30年3月期第2四半期 1,235百万円 (61.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	8.97	
30年3月期第2四半期	25.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	127,403	71,340	56.0
30年3月期	137,953	72,076	52.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 71,335百万円 30年3月期 72,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		19.00		23.00	42.00
31年3月期		23.00			
31年3月期(予想)				47.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	9.0	9,000	15.8	8,000	27.9	5,100	34.6	119.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	48,561,525 株	30年3月期	48,561,525 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	5,840,524 株	30年3月期	5,858,603 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	42,711,443 株	30年3月期2Q	42,700,322 株

(注)自己株式数については、役員報酬BIP信託が所有する当社株式(31年3月期2Q:252,465株、30年3月期:271,137株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 需要家戸数等の推移	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内のエネルギー業界は、2016年4月に電力小売り、17年4月には都市ガス小売りが全面自由化され、関東圏では異業種からの参入やエネルギーの垣根を越えた連携が加速しており、セット割料金メニューなどによる消費者への提案活動がより一層活性化して参りました。

当社グループは、このような状況下で業容拡大を目指し、今年度の都市ガス小売自由化市場でのお客様増加目標200千世帯を掲げております。本目標達成のため、テレビCMやWeb広告等を通じたブランディング戦略により認知度向上に努めるとともに、お客様に利便性の高いサービスを提供するセット割料金メニュー「プレミアム5+プラン」のラインナップを拡充するなど、グループの総力を挙げて営業活動を展開しております。

そして、当社は、資本業務提携先である東京電力エナジーパートナー株式会社の協力を得て、ガスと電気のセット販売開始のために、電力の小売事業を11月にはスタートすべく準備を進めております。

また、当社グループは、主軸であるLPガス事業の順調な顧客基盤拡大への対応と今後の事業連携を見据え、新たな大型LPガス充填ハブ基地「夢の絆・川崎(仮称)」の建設を計画し、用地として神奈川県川崎市に28,900坪の土地を取得することを決定いたしました。計画中の大型LPガスハブ基地は、最新のICT、IoT技術を組み込み、LPガスのタンクへの受け入れ、ガスの協同充填、トレーラーへの積載、耐圧検査等の、完全デジタルトランスフォーメーションによる、世界初の完全無人オペレーションの実現を目指しております。加えて、ICタグや画像認証技術等を活用したガスボンベのトレーサビリティを実現し、リアルタイムでの配送経路や容器管理の「見える化」、センサー技術を活用した基地構内におけるトレーラー・ローリー等の自動オペレーションを目指します。これらエネルギープラットフォーム事業を支える様々なビックデータを連携する技術が、株式会社ソラコムと当社グループが協働で構築するシステム「ニチガス・ストリーム」であります。収集した多くのデータを同システム内のAIが静的・動的に解析することで、お客様毎の異なるニーズや多様化する地域社会の動態に対応した新たなサービス提供に応用して参ります。

さらに、当社グループは、自社既存システムを外部に提供するための、各種機能を個別アプリ及び個別API群で再構成し、各種機能を当該APIで提供するサービス「データ・道の駅」を開発いたしました。当社グループは、東京電力エナジーパートナー株式会社との共同出資会社である東京エナジーアライアンス株式会社が提供するエネルギープラットフォームを通じて、基幹システム雲の宇宙船等を提供しております。本サービスは、このエネルギープラットフォームをご利用頂くユーザー各社が主な対象となり、ユーザー各社は自社の顧客管理システムを再構築することなく、雲の宇宙船に搭載されるシステムのうち必要な機能のみを選択し、繋げて利用することが可能となります。

当社グループは最先端テクノロジーの取り込みこそが、今後の労働生産性向上によるトップライン拡大や、抜本的な働き方改革による将来の企業価値向上を決定づけるという確信のもと、ICT技術によるイノベーションの創出に取り組み続けおります。

定量面に関しましては、当第2四半期末の当社グループのお客様数は、前年同期末に比べ137千世帯増の1,409千世帯と大きく増加しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、期初からの例年にない高気温の影響を受けましたものの、自由化市場でのお客様数の順調な伸びに伴い、ガス売上高が前年同期に比べ増加したこと等により、51,932百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

利益面につきましては、原料価格の上昇に加え、営業力強化のための人員増に伴う労務費の増加等があり、営業利益は1,258百万円(前年同期比16.5%減)、経常利益は851百万円(同46.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は382百万円(同64.8%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

[LPガス事業]

LPガス事業におきましては、ガス販売量は期初からの高気温の影響を受け減少いたしましたが、原料価格の値上がりに伴う販売価格の上昇等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は29,163百万円と前年同期に比べ1,729百万円（前年同期比6.3%増）の増収となりました。

[都市ガス事業]

都市ガス事業におきましては、ガス販売量が、自由化市場でのお客様数の順調な伸びに伴い前年同期に比べ増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,769百万円と前年同期に比べ1,737百万円（前年同期比8.3%増）の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10,550百万円（7.6%減）減少し、127,403百万円となりました。これは主に、借入金の返済と季節的要因により現金及び預金が減少したこと等によるものです。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ9,814百万円（14.9%減）減少し、56,063百万円となりました。これは主に、返済を進めて借入金を減少させたことと季節的要因により支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ736百万円（1.0%減）減少し、71,340百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払いによる利益剰余金の増減を反映したものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.8ポイント向上し、56.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を勘案し、平成30年4月26日に公表した通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日別途開示いたしました「第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,467	20,025
受取手形及び売掛金	6,759	7,614
商品及び製品	5,453	4,585
原材料及び貯蔵品	182	182
その他	926	1,187
貸倒引当金	△141	△106
流動資産合計	44,649	33,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,255	9,214
機械装置及び運搬具（純額）	34,129	32,987
工具、器具及び備品（純額）	1,007	938
土地	25,244	25,331
リース資産（純額）	2,211	2,017
建設仮勘定	830	3,293
有形固定資産合計	72,678	73,783
無形固定資産		
のれん	3,073	2,690
その他	3,211	3,455
無形固定資産合計	6,284	6,145
投資その他の資産		
投資有価証券	4,485	4,238
その他	10,460	10,455
貸倒引当金	△604	△709
投資その他の資産合計	14,340	13,984
固定資産合計	93,304	93,913
資産合計	137,953	127,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,249	4,877
電子記録債務	4,269	3,095
短期借入金	11,012	14,168
未払法人税等	3,023	757
賞与引当金	436	446
その他	5,632	5,110
流動負債合計	31,624	28,455
固定負債		
長期借入金	27,917	21,232
株式報酬引当金	405	417
ガスホルダー修繕引当金	294	327
製品自主回収関連損失引当金	38	3
退職給付に係る負債	2,431	2,505
その他	3,166	3,121
固定負債合計	34,253	27,608
負債合計	65,877	56,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,070	7,070
資本剰余金	15,724	15,724
利益剰余金	56,620	56,014
自己株式	△8,824	△8,757
株主資本合計	70,589	70,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,212	1,035
為替換算調整勘定	289	267
退職給付に係る調整累計額	△23	△19
その他の包括利益累計額合計	1,479	1,283
非支配株主持分	6	4
純資産合計	72,076	71,340
負債純資産合計	137,953	127,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	48,465	51,932
売上原価	23,807	26,663
売上総利益	24,657	25,268
販売費及び一般管理費	23,148	24,009
営業利益	1,508	1,258
営業外収益		
受取利息	20	201
受取配当金	40	30
為替差益	14	81
不動産賃貸料	27	35
受取保険金	85	35
保険配当金	2	19
その他	173	140
営業外収益合計	365	543
営業外費用		
支払利息	181	159
持分法による投資損失	57	618
その他	40	173
営業外費用合計	278	950
経常利益	1,595	851
特別利益		
固定資産売却益	9	58
投資有価証券売却益	272	165
その他	-	0
特別利益合計	282	224
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	38	40
その他	-	8
特別損失合計	39	48
税金等調整前四半期純利益	1,837	1,027
法人税、住民税及び事業税	532	644
法人税等調整額	218	1
法人税等合計	751	646
四半期純利益	1,086	381
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,087	382

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,086	381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108	△177
退職給付に係る調整額	3	4
持分法適用会社に対する持分相当額	37	△22
その他の包括利益合計	149	△195
四半期包括利益	1,235	185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,237	187
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (30.4.1~30.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (29.4.1~29.9.30)
LPガス事業(百万円)	29,163	27,433
都市ガス事業(百万円)	22,769	21,031
合計(百万円)	51,932	48,465

2) LPガス事業の販売実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (30.4.1~30.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (29.4.1~29.9.30)
ガス(百万円)	24,816	23,805
機器、受注工事他(百万円)	4,346	3,628
合計(百万円)	29,163	27,433

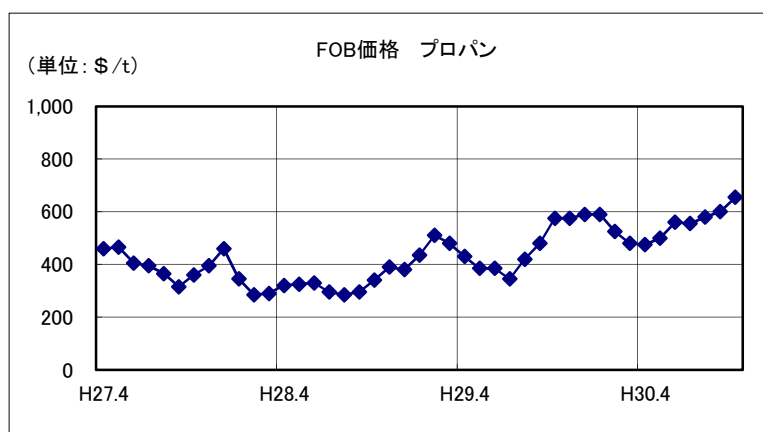
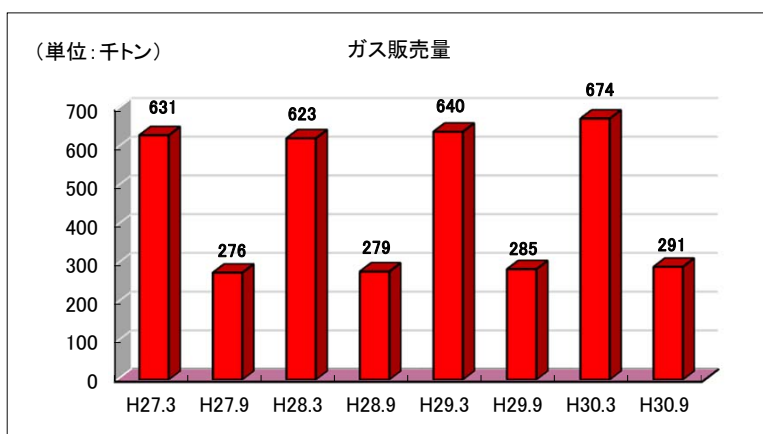
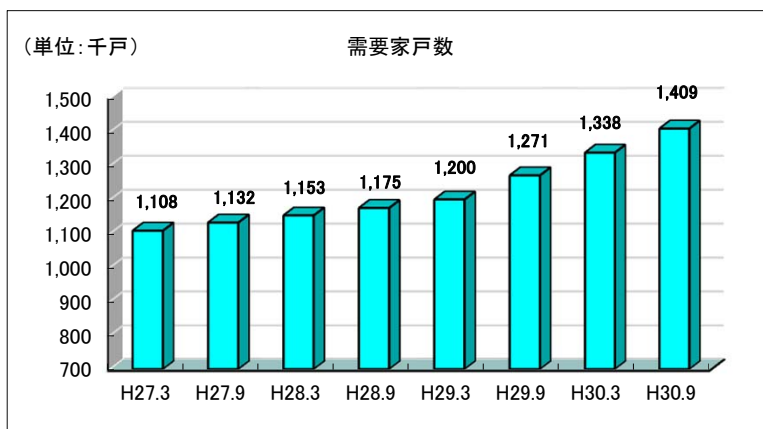
3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (30.4.1~30.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (29.4.1~29.9.30)
ガス(百万円)	19,050	16,222
機器、受注工事他(百万円)	3,718	4,808
合計(百万円)	22,769	21,031

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。

(2) 需要家戸数等の推移



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス(LNG)販売量をLPG販売量(千トン)にカロリー換算して含めております。